

東北大学大学院との共同で、ティシュペーパーの摩擦係数低減が 肌触り感の向上に極めて有効であることを実証

～日本設計工学会 2015 年度秋季研究発表講演会(2015 年 10 月 10 日)にて発表～

大王製紙株式会社（社長：佐光正義）は、東北大学大学院工学研究科の堀切川教授らと共同で、摩擦特性を考慮したティシュペーパーの評価の研究を行っていますが、その研究結果の一部を、2015 年 10 月 10 日の日本設計工学会 2015 年度秋季研究発表講演会にて発表しました。

今までのティシュペーパーの肌触りの評価は、柔らかさ・滑らかさ・好み・強度などの個々の評価の総和による官能評価値に依存していましたが、ティシュペーパーを使用した時の官能評価値とティシュペーパーの性質との関係について分析した結果、ティシュペーパーの肌触り感に関する官能評価値が摩擦係数の平均値のみで説明可能であることを示すとともに、ティシュペーパーの摩擦係数低減が肌触り感の向上に極めて有効であることが実証されました。（発表内容は添付資料をご参照ください。）

この研究成果を基に東北大学との共同研究がさらに進められた結果、肌ざわりの評価を指標化した「肌への摩擦指数（トライボ指数）」が見出され、柔軟仕上げのきめ細かで「なめらか」な肌ざわりの『エリエールティッシュ』(10 月 21 日より全国で販売予定)が生まれました。